

進め方

須藤功平

株式会社クリアコード

SEゼミ2014 - リーダブルコード勉強会2
2014/07/06

今日の流れ - 午前

- ✓ 10:00- 進め方の説明
- ✓ 11:00- 実装
- ✓ 12:00- スポンサー紹介
- ✓ 12:30- ランチ

今日の流れ - 昼下がり

- ✓ 13:30- コード解説
- ✓ 13:50- チェンジして実装
- ✓ 15:30- グループふりかえり
- ✓ 16:00- グループ発表

今日の流れ - 夕方

- ✓ 17:30- まとめ
- ✓ 17:35- 質疑応答
- ✓ 17:50- アンケート記入
- ✓ 18:00- 撤収&移動
- ✓ 18:10- 懇親会

メンター紹介

- ✓ 参加者のサポート係
- ✓ 現役超優秀エンジニア
- ✓ 参加者がわからない
 - ✓ →聞くと助けてくれる
 - ✓ →モジモジしていると声をかけてくる

メンター紹介1

川原さん (@ooharabuchou)

- ✓ 楽天社員
- ✓ 楽天ウェブサービスの開発
- ✓ OpenPNEの開発

メンター紹介2

たなべさん (sunaot)

- ✓ DeNA社員
- ✓ 「るびま」の編集者
(Rubyist Magazine)
- ✓ 最新るびま:リリースアナウンス

メンター紹介3

結城さん (Piro)

- ✓ クリアコード社員
- ✓ 開発Firefoxアドオン数世界一
- ✓ ツリー型タブ
(Tree Style Tab)

メンター紹介4

沖元さん (okkez)

- ✓ クリアコード社員
- ✓ 「るりま」のリーダー
(Rubyリファレンスマニュアル刷新計画)
(≡ Rubyの日本語ドキュメント改善プロジェクト)
- ✓ CRubyのコミッターの1人

トレーナー紹介

須藤

- ✓ クリアコード代表取締役
- ✓ 進行と全体を気にかける係
- ✓ リーダブルコード（本）の「解説」の著者
- ✓ RubyKaigi 2014で話すよ

勉強会の目的

参加者の
リーダーブルコード力の
レベルアップ

実現方法

- ✓ やること
 - ✓ コードを書いて読んでまた書く
- ✓ やらないこと
 - ✓ リーダブルコードを書くためのテクニックをたくさん伝授

やらないこと

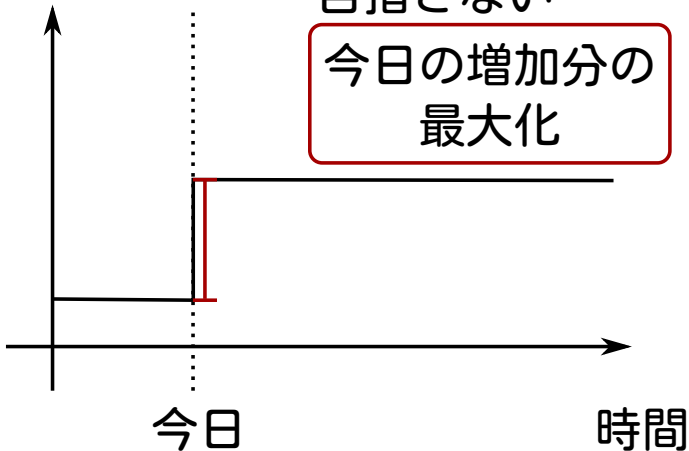
リーダブルコードを書くための
テクニックをたくさん伝授

テクニック伝授は範囲外

リーダーブルコード力

目指さない

今日の増加分の
最大化

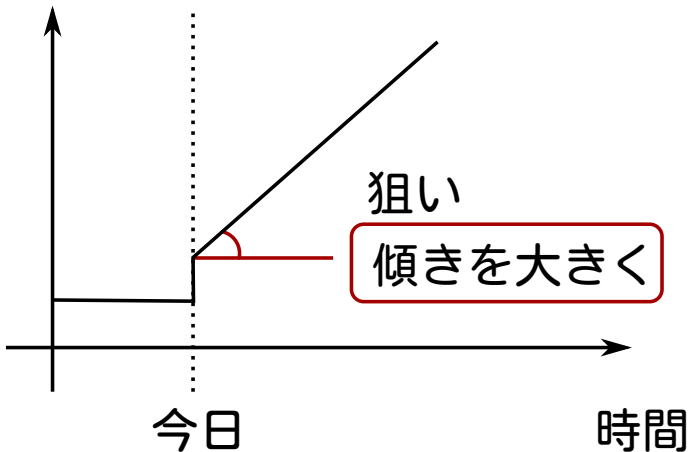


やること

コードを
書いて読んで
また書く

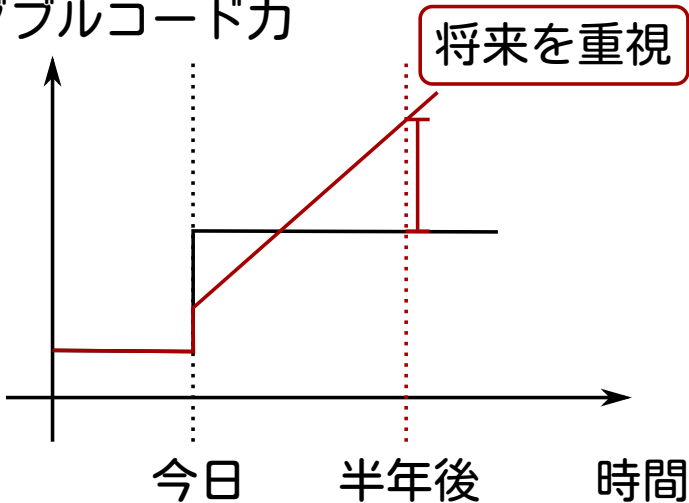
「書き読み書き」の狙い

リーダーブルコードカ



将来を重視

リーダーブルコード力



どうして将来を重視？

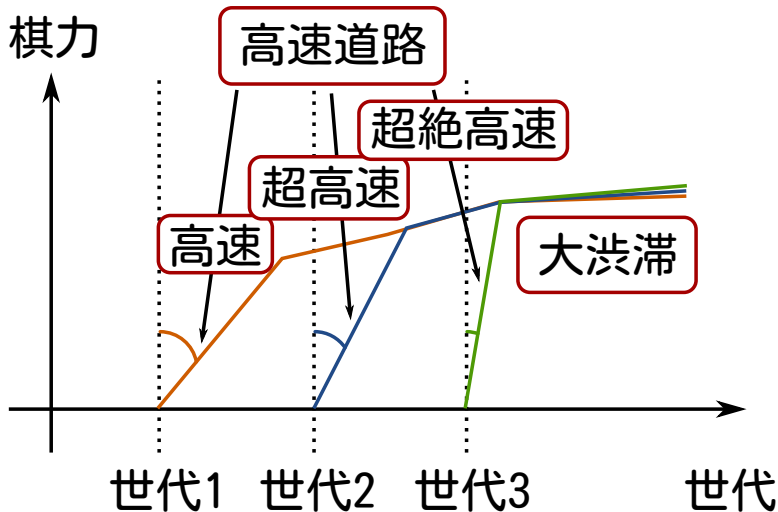
高速道路と大渋滞 (将棋の羽生さんの話)

[http://japan.cnet.com/blog/umeda/2004/12/06/
entry_post_203/](http://japan.cnet.com/blog/umeda/2004/12/06/entry_post_203/)

高速道路と大渋滞

- ✓ インターネットの普及
 - ✓ 情報量大・いつでも対局できる
 - ✓ 将棋が強くなるための高速道路
- ✓ 高速道路の先は大渋滞
 - ✓ 高速道路に終わりがある
 - ✓ 次の世代も高速道路を走ってくる
 - ✓ 終わった場所から抜け出せない

高速道路と大渋滞: イメージ



当てはめると

高速道路 = テクニック集

- ✓ 高速道路を走る
 - ✓ 先人が整理したテクニック集を学ぶ
- ✓ 大渋滞
 - ✓ 未整理のテクニックを活かせない

ここまでのまとめ

- ✓ タイムテーブル説明
- ✓ メンバー紹介
- ✓ 勉強会で目指すことを共有
 - ✓ 目的：リーダブルコードカアップ
 - ✓ ポイント： **今**ではなく**将来**を意識

将来を見据える

テクニックを
自ら開発できる

テクニックの開発方法

1. 既存のテクニックの習得

✓ 本から学ぶ

✓ 野生のコードを読む→
リーダブルコードを発見→
吸収

2. 新規にテクニックを発明

✓ リーダブルでないコードを発見→
改善案を発明

本から学ぶ

1. 既存のテクニックの習得

✓ 本から学ぶ ← **各自やって**

✓ 野生のコードを読む→
リーダブルコードを発見→
吸収

2. 新規にテクニックを発明

✓ リーダブルでないコードを発見→
改善案を発明

野生のコードから発見

1. 既存のテクニックの習得

✓ 本から学ぶ

✓ 野生のコードを読む→
リーダブルコードを発見→
吸収 ↑ **今日のターゲット**

2. 新規にテクニックを発明

✓ リーダブルでないコードを発見→
改善案を発明

改善案を発明

1. 既存のテクニックの習得

✓ 本から学ぶ

✓ 野生のコードを読む→
リーダブルコードを発見→
吸収

2. 新規にテクニックを発明

✓ リーダブルでないコードを発見→
改善案を発明 ← **別の機会**で

リーダブルコードの発見

- ✓ 本の内容→世界の一部
- ✓ 世界
 - ✓ 野生のリーダブルコードがたくさん
- ✓ リーダブルコードがある場所
 - ✓ OSSのコード
 - ✓ 大学・会社の仲間のコード

発見方法

書いて読んで
書いて読んで
書いて読んで

理由

- ✓ 読まないとコードのサンプルが0
 - ✓ サンプルがないと見つけれられない
- ✓ 書かないと身につかない
 - ✓ 知識だけで終わらせない
 - ✓ 自分のスキルにする

今日やること

1. 書いて
2. 読んで
3. 書いて

書いて読んで書いて

- ✓ 11:00- 課題を開発
 - ✓ 書く
- ✓ 13:50 実装をチェンジ
- ✓ 13:50- 他の人の実装で開発継続
 - ✓ 読む・書く
 - ✓ 読まないと変更できない

1: 初期状態

1. 書いて←**自己流で本気をだす**
2. 読んで
3. 書いて

2: 吸収

1. 書いて←自己流で本気をだす
2. 読んで←他のコードから吸収
3. 書いて

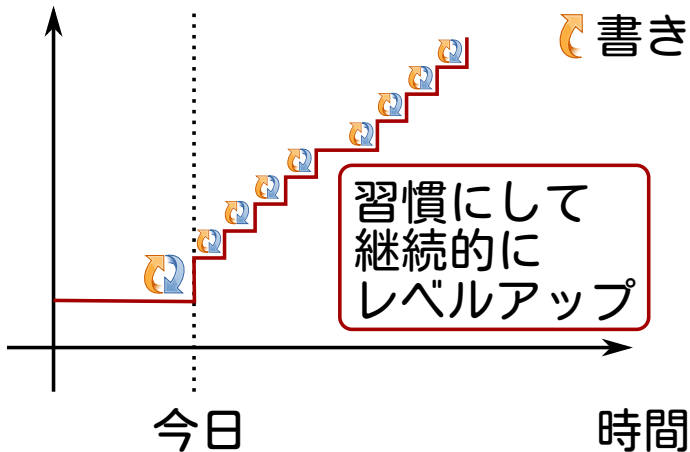
3: レベルアップ

1. 書いて←自己流で本気をだす
2. 読んで←他のコードから吸収
3. 書いて← **↑ を活用して成長**

明日からは自分たちで

リーダーブルコードカ

読み
書き



ここまでのまとめ

- ✓ リーダブルコードの発見方法を紹介
 - ✓ 書いて読んで書いて...
- ✓ 今日やることの説明
 - ✓ 書いて読んで書いて
 - ✓ 1ターンだけ
 - ✓ 2ターン目以降は各自がんばって！

書いた後にやること

- ✓ 15:30- グループふりかえり
 - ✓ 各自:リーダブルコードを発見済
 - ✓ 各自からグループに共有
- ✓ 16:00- グループ発表
 - ✓ グループ:リーダブルコードを発見済
 - ✓ グループから全体に共有

最後

- ✓ 17:30- まとめ
 - ✓ 成功だった？（発見できた？）
- ✓ 17:35- 質疑応答
- ✓ 18:10- 懇親会
 - ✓ 積極的に情報交換してね
 - ✓ 参加者同士
 - ✓ メンターの人に質問←参考になるはず

確認

目的

参加者の
リーダーブルコード力の
レベルアップ

ポイント

今よりも**将来**

やること

テクニックを 開発する方法を 体験

具体的なやること

コードを読んで
リーダブルコードを発見

目標

コードを読んで
リーダブルコードを発見
↑が習慣になる

目標達成の判断基準例

1. 今後はOSSのコードを毎日読む
2. 面接時に↓を質問
 - ✓ コードを見せてください
 - ✓ チーム内でコードを読みあっている？

忘れないで

プログラミングが好きなことは
とても大切にして欲しいこと

誰かのコードから
リーダブルコードを見つける事は
辛い事でなく楽しい事になるはず